

# 洋月 うしお

学校教育目標 「学びを広げ 自ら問い 高めあう」

洋野町立種市中学校  
令和 2 年度校報  
第 3 号  
編集 副校長 八幡

## 第74回盛岡市内一周継走大会 種中駅伝のタスキもつないだ 種中の底力

4月18日(日)に岩手県運動公園周辺コースにて、第74回盛岡市内一周継走大会が開催されました。本校からも男女それぞれ1チームずつ参加し、県内中学校の代表選手たちと健脚を競い合ってきました。

私も盛岡一周継走大会を大会役員として参加しました。私がいたところは、選手が最後走って競技場内に帰ってくる場所、最終コーナー付近です。私の前をすべての選手が走り抜けていきます。もちろん種中の選手も走り抜けていきました。私は思わず声をあげて応援をしていました。ラストスパートをかけてほしかったのです。3Km走って疲れ切っていたと思います。でも、種中の選手はその声にこたえるようにみんなラストスパートでギアをあげてゴールへ向かって走っていきます。ひとつ順位を上げようと後ろからくる他校の選手に抜かれないようにと。その姿に種市中学校生徒の底力を感じました。そして、とても感動しました。

サポートの生徒も選手以上の頑張りでした。選手を最高のコンディションで走ってもらうため、スタート地点とベンチを何往復もしながら応援・サポートを懸命にしていました。もしかしたら、選手以上の距離を走っていたかもしれません。そんな選手とサポートのかかわりを見ながら素晴らしいチームだなとも感じました。

例年、この大会では30番以内に入った学校はしっかりとした取り組みをしてきた学校として評価されます。男女ともその30番以内の順位とても立派だったと思います。校長先生からも全校朝会であったように「種中駅伝のタスキ(文化)」がしっかりと今年もつながったということが何よりもうれしく思います。代表生徒の頑張りにもみなさんからも拍手を送ってほしいと思います。



この週末は不要不急の外出を控えよう

# みんなが思いやりの気持ちをもって

この週末は新型コロナウイルス感染症の広がりから授業参観を延期しています。また、部活動など生徒の活動も停止としています。そのことを受けて、この週末は不要不急の外出を控え、自宅で学習や休養に充ててほしいと思います。

学校では昨日「思いやりを持った行動」について、各学級担任から生徒へお話をしました。学校からも生徒への下文のとおりメッセージを送りました。

ぜひ、ご家庭でもこのことについて、お子さまと話しあってほしいと思います。

新型コロナウイルスに感染したと診断される友達やその家族の人など身近な人の中から出た時、自分は大丈夫かなと不安になることもあると思います。

新型コロナウイルスには誰もが感染する可能性があります。感染した人が悪いということではありません。学校やクラスの中で感染することは悪いことだという雰囲気ができると、友達が学校に登校しづらくなったりすることもあります。

もし、友達や友達の家族が感染した場合はその人や症状のある人を責めるのではなく、思いやりの気持ちを持ち、感染した人たちが早く治るよう励まし、治って戻ってきたときには温かく迎えてほしいと思います。もし、自分が感染したり症状があったりしたら、友達にはどうしてほしいかということを考えて行動してほしいと思います。

種市中学校の生徒には友達に対して、嫌な行動をする生徒はいないと信じています。みんなが優しさをもって生活できる学校、みんなが温かい心で過ごせる学校をこれからも全校でつくりあげていきましょう。

(文部科学大臣の児童・生徒へのメッセージを一部引用)

